授業科目　精神保健福祉援助技術各論

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	社会（精神保健福祉コース必修）
酒井　昭平	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	4	時間数	60

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

精神保健福祉士にとって必要な地域を基盤にした相談援助及び精神科リハビリテーションの展開の基本的な考え方や必要な技術を習得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．精神障害者を対象とした相談援助技術の展開について理解する。
2．精神障害者の地域移行支援及び医療機関と地域の連携に関する基本的な考え方と支援体制の実際について理解する。
3．地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解する。
4．地域精神保健福祉活動の意義と展開について理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1,2	オリエンテーション／相談援助活動の内容と方法／実際		オリエンテーション／講義
3,4	集団を活用した支援の実際と事例分析		講義
5,6	精神保健福祉士における精神障害者と家族関係		講義
7,8	家族の支援方法／事例による家族調整・支援の検討		講義
9,10	地域移行支援の対象・体制、精神保健福祉士の役割と連携		講義
11,12	精神科入院患者の地域移行支援・地域定着支援の取り組み		講義
13,14	地域移行に関わる機関と組織		講義
15,16	地域を基盤にした相談援助の主体と対象		講義
17,18	地域相談援助の体制／事例		講義
19,20	地域ネットワーク／アウトリーチ／地域生活支援事業／訪問援助		講義
21,22	セルフヘルプグループ及び家族会／ボランティアの育成と活用		講義
23,24	ケアマネジメントの原則、意義・方法		講義
25,26	ケアマネジメントの展開過程／チームワーク		講義
27,28	地域を基盤にした支援の概念と基本的性格、アセスメント、評価		講義
29,30	地域生活を支援する包括的支援の意義と展開／まとめ		講義／まとめ

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	新・精神保健福祉士養成講座　精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II（第２版）	日本精神保健福祉士養成協会編	中央法規	2014・2,700 円・（発行年 2014 年２月）
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

出席状況、レポート、期末試験

【履修上の留意点】

講義のほかに演習、ビデオ学習（討論・レポート）あり